

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

病院名	フリガナ	コッカコウムインキョウサイクミアイレンゴウカイ トラノモンビョウイン
		国家公務員共済組合連合会 虎の門病院
所在地		東京都港区虎の門2-2-2
管理者氏名		院長 門脇 孝
承認年月日		平成28年 2月16日
業務報告書提出日		令和6年10月1日

II 業務報告

対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	
------	--------------------	--

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	ア 紹介率80%以上 ① 紹介率65%以上、かつ逆紹介率40%以上 のいずれか ② 紹介率50%以上、かつ逆紹介率70%以上	
承認要件		
紹介率	①／②－（③＋④＋⑤）	75.6 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	13,784 人
	②初診患者数	24,461 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	1,547 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	4,671 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	0 人
逆紹介率	⑦／②－（③＋④＋⑤）	189.7 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	34,610 人

2 共同利用の実績

共同診療件数	0 件
高額医療機器共同利用件数	1,176 件
共同利用病床数	9 床
共同利用病床利用率	0.0 %
共同利用施設・設備	1. 建物すべて 2. 共同利用病床（一般9床） 3. 腹部超音波、甲状腺超音波、心臓超音波、ホルター心電図、脳波、頸動脈超音波、下肢深部静脈超音波、末梢神経伝導、誘発筋電図、睡眠時無呼吸モニター、終夜睡眠ポリグラフ、尿素呼気試験、上部内視鏡、下部内視鏡、骨密度、核医学
登録医療機関数	286

3 救急医療の提供の実績 【（１）又は（２）のどちらかを選択すること】

（１）救急患者数

救急搬送による救急患者数	7,066 （ 4,969 ）
救急搬送以外の救急患者数	7,563 （ 2,355 ）
合計（うち初診患者数）	14,629 （ 7,324 ）

※括弧内は、初診救急患者数

（２）救急医療圏（２次医療圏）人口における救急搬送患者数割合

A:救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	人
B:救急医療圏（２次医療圏）人口※	人
C:A/B×1000＞2	(少数点第1位まで記入)

※２次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口（該当２次医療圏における区市町村人口の総和）を用いること。

（３）救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	2023/4/16（日）2023年度第1回虎の門病院肝疾患診療連携研修会 32名 2023/4/20（木）第17回虎の門病院医療連携セミナー 74名 2023/5/18（木）第18回虎の門病院医療連携セミナー 79名 2023/5/21（日）2023年度第2回虎の門病院肝疾患診療連携研修会 41名 2023/5/27（土）2023年度第1回造血幹細胞移植WEBセミナー 55名 2023/6/21（水）第19回虎の門病院医療連携セミナー 68名 2023/7/2（日）2023年度第3回虎の門病院肝疾患診療連携研修会 32名 2023/7/19（水）第30回虎の門がんセミナー 62名 2023/9/16（土）2023年度第2回造血幹細胞移植WEBセミナー 92名 2023/9/21（木）第31回虎の門がんセミナー 95名 2023/10/19（木）第32回虎の門がんセミナー 85名 2023/11/16（木）第20回虎の門病院医療連携セミナー 72名 2023/12/21（木）第21回虎の門病院医療連携セミナー 56名 2024/1/13（土）2023年度第3回造血幹細胞移植WEBセミナー 73名 2024/1/17（水）第22回虎の門病院医療連携セミナー 66名 2024/2/8（木）第33回虎の門がんセミナー 68名 2024/2/19（月）第17回医療連携懇談会 252名 2024/3/12（火）第2回虎の門腎代替療法セミナー 38名 2024/3/21（木）第34回虎の門がんセミナー 54名	
地域の医療従事者への実施回数	19 回	
合計研修者数 ※院外からの延べ参加人数	1,394 人	
研修体制	研修プログラムの有無	（有） ・ 無
	研修委員会の設置の有無	（有） ・ 無
	研修指導者数	3 人
研修施設	虎の門病院（講堂、ハイブリッド、WEB）、赤坂インターシティコンファレンス、The Okura Tokyo（曙の間）	

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	医療情報管理部長	
管理担当者	医療情報管理部 事務課長	
診療に関する諸記録の保管場所		医療情報管理部
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	患者支援部 医療連携室
	救急医療の提供の実績	医事課
	地域医療従事者向け研修の実績	患者支援部 医療連携室
	閲覧実績	患者支援部 医療連携室
	紹介患者に対する関係帳簿	患者支援部 医療連携室

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	患者支援部部長		
閲覧担当者	患者支援部医療連携センター課長		
閲覧に応じる場所	2階研究室		
前年度の総閲覧件数			47 件
閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	47 件
		歯科医師	0 件
	地方公共団体		0 件
	その他		0 件

7 委員会の開催実績

委員会の開催回数	1 回
委員会の概要	新型コロナウイルス感染症のまん延により、これまで委員会の開催は中止としていたが、今年度はハイブリッド形式により委員会の開催を再開した。新型コロナウイルスが5類感染症へ移行し今年度より通常開催を計画していたが、夏の感染拡大の影響もあり今年度は1回の開催となった。 なお、令和6年度においては、年4回(6月27日開催、9月27日開催、12月13日開催予定、2月開催予定)の開催を予定している。 2023年度虎の門病院地域支援病院運営委員会 ■ 委員紹介 ■ 虎の門病院地域医療支援病院運営委員会規程について ■ 新型コロナウイルス感染症について 新型コロナウイルス感染症の2020年から2023年の入院患者数および入院患者数の推移、検査件数と陽性率の推移等を報告 ■ 救急医療の現況報告 ■ その他 ・ 赤坂消防署より搬送患者の早期収容の依頼 ・ 医師の働き方改革への取組みについて ・ 都市部の高齢化に対するによる地域連携の課題について ・ 薬剤師会と虎の門病院との連携について(依頼) ・ 電子処方せんの地域での導入状況について

8 患者相談の実績

相談を行う場所	患者支援部 総合相談センター
主たる相談対応者	医療ソーシャルワーカー(社会福祉士，精神保健福祉士) 17名， 看護師 10名 他
相談件数	55,772 件
相談の概要	受診援助，入院援助，退院援助，療養上の問題調整，経済的な問題調整， 就労問題援助，住宅問題援助，教育問題援助，家族問題援助， 日常生活に関する援助，心理・情緒的援助，医療における人権擁護， がん相談，肝疾患相談，脳卒中相談，その他 相談機能について一元化を図り、患者家族等に周知し対応している。

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有・無
評価を行った機関名、評価を受けた時期	日本医療機能評価機構：病院機能評価 2005年1月24日初回認定 2010年1月24日更新 2015年1月24日更新(3rdG:Ver. 1.0) 2020年1月24日更新(3rdG:Ver. 2.0) 2024年6月 一般病院3(3rdG:Ver. 3.0)受審	

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有・無
情報発信の方法、内容等の概要	・ 情報発信の方法、内容等の概要 ホームページ：虎の門Youtubeチャンネル、医療連携WEB(ハイブリッド)セミナー、臨床指標、総合相談センター、ネットワーク医等の紹介 医療連携懇談会：連携医療機関への当院の診療部門の紹介、話題提供 診療案内の送付：各診療科の特色や担当医の紹介した冊子を連携医療機関へ送付 地域医療機関訪問活動：当院医師による地域医療機関訪問活動による診療機能の紹介 セミナー開催：当院主催とは別に他医療機関との共催で研修会や症例検討会の実施 外来診療表及び各種研修会の案内送付：毎月実施	

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無		有・無
退院調整部門の有無概要	患者支援部内に常勤専従の社会福祉士および専任の退院支援看護師を配置。急性期治療後の患者に対し、患者及び家族の意向を確認し、回復期リハビリテーション病院、地域包括ケア病棟、慢性期病院への転院、若しくは自宅等退院後の療養生活を安心して送ることができるよう支援体制を整えている。	

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定		有・無
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	当院は地域がん診療連携拠点病院の指定を受けており、東京都のがん連携クリティカルパス(東京都医療連携手帳)を使用し、5大がん+前立腺がんの連携を行っている。乳がんについては、乳腺科クリニックからの紹介・逆紹介が多いため、うまく連携を取りながら連携クリティカルパスを活用している。	